

平成 26 年 2 月 10 日

こんにちは赤ちゃん事業調査研究報告会

開催のお知らせ

信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座

教授 野見山 哲生

母子保健業務担当者 様

拝啓 余寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本講座の研究・教育に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 21 年～22 年に行われた、厚生労働科学研究「医療ネグレクトにおける医療・福祉・司法が連携した対応のあり方に関する研究」を契機として、長野県内の 12 市町村にご協力頂き、こんにちは赤ちゃん事業の評価を行って参りました。この度、成果がまとまりましたので、長野県内の市町村及び母子保健業務担当者の皆様にご報告させていただきたく、ご案内申し上げます。また、長野県内の 2 市、松本市、中野市の母子保健担当者から、それぞれの市で行われているこんにちは赤ちゃん事業について、その成果と特徴をご報告して頂きます。また、せっかくの機会でもありますので、「こどもを健やかに育くむために、今知っておきたいこと-虐待の世代間連鎖、社会格差・ソーシャルキャピタルと健康との関連-」というテーマで、国立成育医療研究センター研究所成育社会医学研究部部長の藤原武男先生に特別講演を頂くことにいたしました。年度末でお忙しいとは存じますが、ご参加いただきたく存じます。なお、ご参加いただけるようでしたら、お手数ですが同封（または貴施設）の FAX にて **3 月 4 日（火）まで**にご連絡下さい。

何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

こんにちは赤ちゃん事業調査研究報告会

【日時】平成26年3月10日（月）、13時～16時40分

【場所】信州大学旭総合研究棟9階（松本市旭3-1-1、別紙地図参照）

*お車の方は、信大病院駐車場をご利用ください（100円で利用できる駐車券をお渡しします）。

【プログラム】

12:30～13:00 受付

13:00～13:10 開会のあいさつ

13:10～14:00 こんにちは赤ちゃん事業調査研究報告

14:00～14:50 自治体からの報告、質疑・討論

1) 松本市

2) 中野市

14:50～15:00 休憩

15:00～16:30 特別講演

国立成育医療研究センター研究所成育社会医学研究部

藤原武男 先生

「こどもを健やかに育くむために、今知っておきたいこと-虐待の世代間連鎖、社会格差・ソーシャルキャピタルと健康との関連-

16:30～16:40 閉会のあいさつ

主催：信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座

共催：長野県

信州公衆衛生学会

信州大学医学部小児環境保健疫学研究センター

特別講演講師・藤原武男先生のご紹介



<プロフィール>

2000年に東京医科歯科大学医学部を卒業、2004年、同大学大学院にて医学博士号を取得。その後、国立成育医療センターこころの診療部で児童虐待の研究に携わる。さらにハーバード大学公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士号を取得後、カナダのブリティッシュ・コロンビア大学小児科へ留学、虐待の一つである乳幼児揺さぶられ症候群の予防研究に従事する。

2008年4月より国立保健医療科学院生涯保健部行動科学室長。2010年9月より国立成育医療研究センター研究所成育社会医学研究部部長。2011年4月より三重大学大学院医学系研究科連携教授（成育社会医学分野）を兼務。

子育てトレーニングの一つであるトリプルP（Positive Parenting Program）のレベル4認定ファシリテーター。自身も子育て真っ最中である。

<研究活動内容>

子どもに関する調査・研究を多角的に多数行われている。そのごく一部を紹介。

- 父親の育児関与と幼児の不慮の事故に関する研究：「父親の育児関与が低い家庭では、幼児の事故が起こりやすい」と報告。
- 日本の母親における虐待の世代間連鎖の媒介要因に関する研究：「母親のメンタルヘルス（解離、うつ、トラウマ症状）が被虐待歴と虐待傾向を媒介している」と報告。
- ソーシャルキャピタルと子どもの行動の関連に関する研究：「住民どうしの結びつきが「高い」と回答した家では「低い」と回答した家に比べて、子どもが朝食を抜く割合が約9割少ない。また、地域活動に4つ以上参加している家では、まったく地域活動に参加していない家に比べて早起きの子が多く、歯磨きもよく行っている」と報告。
- 乳幼児揺さぶられ症候群に関する研究：最近の主な研究テーマ。厚生労働省制作の乳幼児揺さぶられ症候群予防のためのDVD「赤ちゃんが泣きやまない～泣きへの対処と理解のために～」（You tubeにて視聴可能）の監修を手がける。他研究報告多数。
- 育児に関する情報サイト「おやこの医学（<http://www.oyako-igaku.com>）」を主催。様々な視点から育児に関する情報を発信している。

FAX

送付先: 信州大学医学部
衛生学公衆衛生学講座
野見山 哲生 行

発信元:

FAX 番号: 0263-37-3499

送付枚数: 枚

電話番号: 0263-37-2622

日付: 年 月 日

件名: 研究報告会参加について

こんにちは赤ちゃん事業調査研究報告会に参加致します。

<ご施設名>

<ご参加者氏名（全員）>

お名前

ご所属

信州大学松本キャンパス

東

